35011243-03

Backup Utility の使いかた

これはハードディスク専用のソフトです。バックアップ先にはハードディスクのみ選択することが可能です。

Backup Utilityは、パソコンのデータを簡単にバックアップ・復元できるソフトウェアです。バックアップをするドライブを選択するだけで、バックアップを行えます。

※ タブレットの場合は、「クリック」を「タップ」に読み替えてください。

特長

選択したドライブの全てをバックアップ

選択したドライブの全てのデータをバックアップします。バックアップしたくない項目がある場合は、設定画面で追加できます。

Notes:

- パソコンで使用中のファイルはバックアップされません。
- システムドライブをバックアップする場合は、「Windows」フォルダーと「Program Files」フォルダー内のファイルはバックアップされません。

一定間隔または指定時刻に自動的にバックアップ

1度バックアップ設定を行えば、一定間隔または指定時刻に自動でバックアップを行います。（バックアップの時間設定は、設定画面で選択できます。）

いつのデータを復元するか画面を見ながら選べる

バックアップしたデータは、画面のスナップショット（写真）と一緒に保存されるため、見た目で判断することができます。

お使いになる前に

- システムドライブのバックアップをする場合、「Windows」フォルダーと「Program Files」フォルダーのバックアップはできません。
- パソコンで使用中のファイルのバックアップはできません。使用中でバックアップできなかったファイルは、エラーログで確認することができます。
- パソコンのシステム（OS）のバックアップはできません。
- バックアップ先ドライブがFAT32形式でフォーマットされている場合、1ファイルが4GB以上のファイルを保存できません。バックアップ先ドライブをNTFS形式でフォーマットすると、1ファイルが4GB以上のファイルも保存できます。
- Backup Utilityのインストールを行うときは、コンピューターの管理者（Administator）権限をもつアカウント

でログオンしてください。

- 複数ユーザーでのバックアップには対応していません。

設定方法

1 タスクトレイのアイコン( )を右クリックし、[設定]を選択します。
インストール後などは、手順2の画面が表示されますので、そのまま手順2へ進んでください。

2 [次へ]をクリックします。

3 バックアップ名を入力し、[次へ]をクリックします。
※バックアップ名は、「(お使いのPC名)のバックアップ」と表示されます。変更する場合は、変更したい名称を入力してください。変更する必要がない場合は、そのまま[次へ]をクリックしてください。

4 バックアップしたいドライブにチェックを入れ、[次へ]をクリックします。

5 バックアップデータを保存したいドライブを選択し、[次へ]をクリックします。

※バックアップ先に設定できるのは、バッファロー製USBハードディスクのみです。
※バックアップ先が表示されない場合は、バッファロー製USBハードディスクが正しく接続されていることを確認し、[更新]をクリックしてください。

「バックアップ先がFAT32ファイルシステムです」と表示されたら？
バックアップ先のドライブがFAT32形式でフォーマットされているため、1ファイルが4GB以上のファイルを保存できません（FAT32形式の制限です）。4GB以上のファイルを保存しなくてもよい場合は、[はい] をクリックして、設定を進めてください。4GB以上のデータも保存したい場合は、設定を中止し、バックアップ先ドライブをNTFS形式でフォーマットしてください。

6 [次へ]をクリックします。

※バックアップしたくないフォルダーがある場合は、[追加]をクリックして、バックアップしたくないフォルダーを選択してください。選択したフォルダーはバックアップされなくなります。

7 バックアップを実行する時間を設定し、[次へ]をクリックします。
※「間隔で設定する」で設定を行う場合、パソコンがOFFのときの時間は間隔に含まれません。

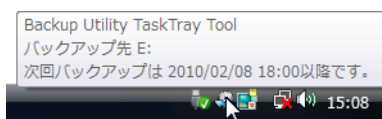
8 [完了]をクリックします。

「現在の時刻は20XX / XX / XX　XX:XX　です。正しい時刻ですか？」と表示されたら？
もし時刻が正しくないときは[いいえ]をクリックし、Windowsの時刻を正しく設定して、もう一度始めから設定し直してください。
※Windowsの時刻の変更は、Windowsのヘルプを参照してください。

設定後のバックアップについて

バックアップ設定後は、設定した間隔または指定時刻に自動でバックアップが行われます。ご自身で操作していただく必要はありません。

Notes:

- バックアップ先に指定したドライブをパソコンから取り外すと、バックアップは行われません。
- タスクトレイのアイコンにマウスカーソルを合わせると、次回のバックアップ時間がわかります。

ログを確認する

バックアップ時に使用中でバックアップできなかったファイルなどをログで確認できます。以下の手順で確認してください。

1　タスクトレイのアイコン（ ）を右クリックし、[エラーログの表示]をクリックします。

2　バックアップした日時が表示されたら、ログを確認したい日時を選択し、[OK]をクリックします。

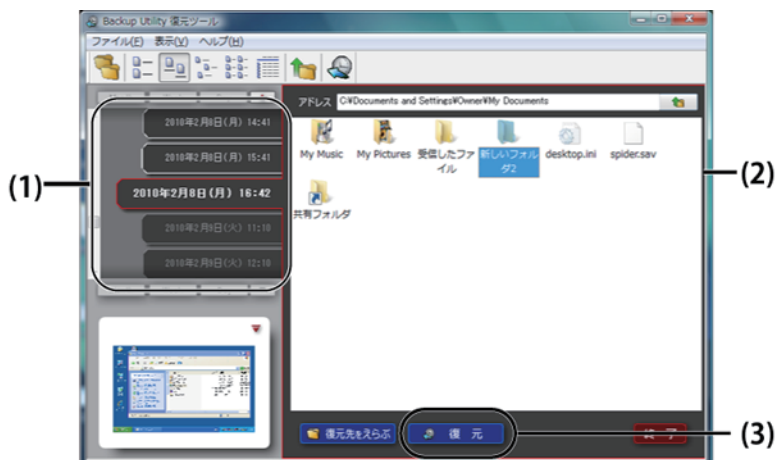
以上でログが表示されます。

復元方法

バックアップアップしたデータを復元する場合は、以下の手順で行います。

1　タスクトレイのアイコン（ ）を右クリックし、[復元ツールの起動]を選択します。

2

(1) 復元したいデータがバックアップされた日時を選択します。
(2) 復元したいフォルダーを選択します。
(3) [復元]をクリックします。

以上で復元が始まります。完了するまでお待ちください。

Backup Utilityを削除するには

Backup Utilityをパソコンから削除（アンインストール）するときは、以下の手順を行ってください。

※お使いのOSによって、ボタンの名称が異なります。

1　[スタート]―[コントロールパネル]を選択します。
Windows 8の場合は、スタート画面で[デスクトップ]を選択→カーソルを画面の右上端に移動（タブレットでは画面右端を左にスライド）して［設定］を選択→［コントロールパネル］を選択します。

2　[プログラムのアンインストール]、[プログラムと機能]、[プログラムの追加と削除]のいずれかをクリックします。

3　[BUFFALO Backup Utility]を選択し、[アンインストールと変更]、[アンインストール]、[削除]のいずれかをクリックします。

以降は、画面の指示に従って削除してください。